

ご興味のある方はぜひご参加下さい

講演会のお知らせ

サンゴ地球環境学

講師：高知大学総合研究センター
海洋生物研究教育施設 三ツ口 丈裕 氏

■日時 2013年2月25日(月)～26日(火)

授業時間：

2013年2月25日10:00～12:00, 13:00～15:00 (予定)

2013年2月26日10:00～12:00, 13:00～15:00 (予定)

(時間が足りない場合は延長します)

■場所 物部キャンパス 農学部3-1-12教室

■問合先 平岡雅規 ☎088-856-0462 ✉mhiraoka@kochi-u.ac.jp

授業内容の概要：

造礁サンゴは主に熱帯・亜熱帯域に生息するが、黒潮の影響で高知県や和歌山県にも生息する。そして、炭酸カルシウム(CaCO_3)の骨格を分泌しながら成長し、数千年～数百万年もの時間をかけて独特の地形(サンゴ礁)を造る。造礁サンゴには様々な形状(枝状, テーブル状, 塊状など)があるが、塊状のサンゴは高さ数メートルの巨大群体に成長することがあり、その内部には数百年分の年輪が刻まれている。この年輪の化学分析をすると、過去の海洋環境や気候を約1ヶ月単位で推定することができる。この学問分野を「サンゴ年輪古環境学」などと呼ぶ。この授業では、(1)サンゴの生物学、(2)サンゴ礁の地理的分布・地形、(3)地球温暖化との関係、(4)生物鉱化作用、(5)サンゴ年輪古環境学の話をする。

ご略歴：

1967年生まれ。神戸大学理学部化学科卒業。2000年に名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程を修了し、博士(理学)を取得。その後、日本学術振興会、科学技術振興事業団、国立環境研究所などの研究員を経て、2005年頃から7年間無職となるが研究活動を継続。2012年10月から高知大学総合研究センター海洋生物研究教育施設の非常勤研究員として海藻の屋外培養実験などを行なっている。専門はサンゴ年輪古環境学。

主催：黒潮圏総合科学専攻

DCセミナー指定 (博士)(理系)
黒潮圏セミナー指定 (修士)(理系)